



第40回（2019年度）JSCAブロック対抗水泳競技大会 in東海  
兼  
オーストラリア キーンズランド チャンピオンシップ派遣選考会

1. 主催 一般社団法人日本スイミングクラブ協会
2. 共催 公益財団法人日本水泳連盟
3. 主管 日本スイミングクラブ協会東海支部
4. 協力 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟・一般社団法人日本知的障害者水泳連盟  
一般社団法人日本ろう者水泳協会
5. 後援 (予定) スポーツ庁・静岡県・静岡県教育委員会・浜松市・浜松市教育委員会  
公益財団法人静岡県体育協会・公益財団法人浜松市体育協会  
東海4県水泳連盟連絡協議会・一般社団法人静岡県水泳連盟・NPO法人浜名湾游泳協会
6. 協賛 江崎グリコ株式会社
7. 期日 2019年10月12日(土)～13日(日)
8. 会場 浜松市総合水泳場T o B i O (公認50m×10レーン)  
〒431-0201 浜松市西区篠原町23982-1
9. 競技方法
  - (1) 競技は、2019年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り行う。
  - (2) 団体(ブロック)対抗とする。\*但し、マルチクラスは除く
  - (3) 男女とも11～12歳(C)・13～14歳(D)・15～18歳(E)の年齢区分に分けて行う。  
ただし、女子800m男子1500m自由形は無差別とする。
  - (4) 参加年齢の決定は本大会第1日(2019年10月12日)の満年齢による。
  - (5) 競技は、すべてタイムレース決勝とする。

10. 競技種目

種目 区分	11～12歳	13～14歳	15～18歳	無差別	マルチクラス
自由形	50m 100m 200m	50m 100m 200m 400m	50m 100m 200m 400m	女子 800m 男子1500m	50m・100m
背泳ぎ	50m 100m	100m 200m	100m 200m		50m・100m
平泳ぎ	50m 100m	100m 200m	100m 200m		50m・100m
バタフライ	50m 100m	100m 200m	100m 200m		50m・100m
個人メドレー	200m	200m 400m	200m 400m		
混合メドレーリレー	200m	200m	200m		
メドレーリレー	200m	400m	400m		
混合フリーリレー	200m	200m	200m		
フリーリレー	200m	400m	400m		

11. 競技順序

別項の通り

12. 申込規定

(1) 資格

- ① (公財)日本水泳連盟競技者登録2019年度完了者。
- ② (一社)日本スイミングクラブ協会制定の各ブロックで選考された選手に限る。(大学生は除く)
- ③ マルチクラスは、一般社団法人日本スイミングクラブ協会障害者水泳委員会から推薦された選手に限る。

(2) 制限

- ① 各ブロック1種目2名以内、1人3種目以内(リレー種目は除く)とする。
- ② リレー種目は各ブロック各区分1チームまでとし、リレー種目のみの参加は認めない。

(3) 申込金

個人1種目	1,000 円	
リレー1チーム	2,000 円	
プログラム	1,620 円	(参加選手分以上ご購入下さい)
速報	5,400 円	(1部)
チーム参加費	3,000 円	(参加チーム分)
ブロック広告費	86,400 円	

(4) 申込方法

- ① Web-SWMSYSを利用し、個人種目は選考された選手の所属チームより行い、リレー種目はブロックを代表するチームよりエントリーを行う。
- ② 各ブロックは次の書類を取りまとめ、また作成し下記送信先へ締切日までに送らなければならない。
  1. ブロック対抗水泳競技大会申込書 (E-mailで提出)
  2. ブロック広告申込書 (E-mailで提出)

送信先	日本スイミングクラブ協会東海支部 E-mail: jscatokai@sc-tokai.net
-----	--

振込先	金融機関 中日信用金庫 支店名 名東支店 口座番号 普通 0312429 口座名 日本スイミングクラブ協会東海支部
-----	---

申込金はブロック一括の上、次の口座に振り込むこと。(振込み手数料はご負担下さい)

問い合わせ先：東海支部事務局 在室時間：火曜日～金曜日（祝祭日を除く）10：00～12：30・13：30～17：00 E-mail: jscatokai@sc-tokai.net TEL: 052-757-5003 FAX: 052-757-5004
---

(5) 申込締切

2019年9月6日（金）必着

(6) 申込確認

エントリーの確認は、東洋電子システムより各支部事業企画委員長へメールにて送信する。

訂正がある場合は、東洋電子システムへメール又はFAXで9月11日（水）20時迄に連絡すること。

【東洋電子システム：TEL 052-604-3481 FAX 052-604-3496】

メールアドレス：shigehara@tdsystem.co.jp

(7) ADカード

本大会はADカードを使用する。

(8) 撮影許可証

撮影許可証は出場者のプライバシーを保護するために発行する。

撮影許可証は、所定の方法にて各ブロックから事前に申し込むこと。大会当日は、

原則として発行しない。

※選手・コーチ・ブロック関係者のADカードを着用している場合は、撮影許可証を必要としない。

13. 得点

個人種目 1位10点・2位8点・3位7点・4位6点

5位 5点・6位 4点・7位3点・8位2点

※ リレー種目は個人種目の倍点とする。

※ 混合リレーの得点は男女総合にそれぞれ1/2加点とする。

※ 同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

なお、得点は次の順位のものに加え、同順位者で等分する。

14. 表彰

- (1) 男女団体総合 優勝杯（文部科学大臣杯）、準優勝杯、第3位カップ及び6位までのブロックに賞状を授与する。

男子団体総合 優勝（加藤茂氏杯）及び3位までのブロックにはカップと賞状を授与する。

女子団体総合 優勝（加藤茂氏杯）及び3位までのブロックにはカップと賞状を授与する。

※同点の場合は①リレー種目の優勝数の多いチーム②個人種目の優勝者の多いチームを上位とする。

- (2) 各種目1位～3位にメダルならびに賞状を授与し表彰する。4～8位に賞状を授与する。

（リレーは8位まで賞状を授与する。）

- (3) 最優秀選手賞を1名、男女別優秀選手賞を各1名、各年齢別男女優秀選手賞を6名に授与する。

大会新記録樹立者には新記録証を授与する。

- (4) 参加者全員に記録証を授与する。

15. 選考

本大会の成績によって、「オーストラリアクイーンズランド・チャンピオンシップ水泳大会」の代表選手を選考する。（日程等の詳しい内容は、後日連絡する）

※本大会の申込み時に、別紙のアンケート用紙を必ず各ブロック責任者へ提出のこと。

16. 監督者会議

日 時 2019年10月11日(金)午後4時30分～

会 場 浜松市総合水泳場T o B i O 会議室

宿泊・輸送・弁当申込先

東武トップツアーズ(株) 名古屋教育旅行支店 担当:鈴木

TEL:052-232-3345 FAX:052-232-3356

その他

大会期間中における盗難・事故に関しましては一切の責任を負わないので、各ブロックで十分に注意すること。  
また、大会期間中に万が一傷害事故が起きた場合、応急処置はするが、その後の責任は加入保険の範囲内での対応とする。

競技大会の結果及び個人情報、本大会の運営、主催者及び報道機関、後援・協賛団体での使用、インターネットでの公開、大会プログラム等への掲載に使用することがある。

(第3者提供先:(有)東洋電子システム)

競技順序

競技種目の年齢区分ごとに、女子・男子の順で競技を行う。

【10月12日(土)1日目】

開会式

- DE 400m個人メドレー
- CDE 50m自由形
- C 50mバタフライ
- C 50m平泳ぎ
- C 50m背泳ぎ
- マルチ 50m・100m自由形
- マルチ 50m・100mバタフライ
- マルチ 50m・100m平泳ぎ
- マルチ 50m・100m背泳ぎ
- CDE 4×50m混合メドレーリレー
- 無 女子800m自由形
- 無 男子1500m自由形
- DE 200m背泳ぎ
- DE 200m平泳ぎ
- DE 200mバタフライ
- CDE 200m自由形
- C 200mメドレーリレー
- DE 400mメドレーリレー

【10月13日(日)2日目】

- DE 400m自由形
- CDE 4×50m混合フリーリレー
- CDE 100m平泳ぎ
- CDE 100mバタフライ
- CDE 100m自由形
- CDE 100m背泳ぎ
- CDE 200m個人メドレー
- C 4×50mフリーリレー
- DE 4×100mフリーリレー

閉会式

C	…	11～12才
D	…	13～14才
E	…	15～18才(高校生まで)
無	…	無差別(高校生まで)
マルチ	…	障害者水泳委員会推薦者

## クイーンズランドスイミングチャンピオンシップ

### 引率コーチに関するアンケート

当協会「豪州遠征事業」は、選抜・一般参加選手で組織され毎年大きな成果を上げております。また、参加選手の多くが国際試合の経験を礎として、帰国後、日本のトップクラスの選手として活躍しています。帯同するコーチ陣も、国内では得ることのできない貴重な経験を自身のコーチングに活用しておられます。本年度も、第40回JSCAブロック対抗水泳競技大会におきまして、参加選手の中から6名を選考し、下記大会に派遣いたします。つきましては引率コーチ2名の募集も行いますので、下記内容をご理解の上アンケートにお答え下さい。

一般社団法人日本スイミングクラブ協会  
事業企画委員会

#### 記

大会名	2019クイーンズランドスイミングチャンピオンシップ		
遠征期日	2019年12月12日～22日（競技会日程：12月14日～20日）		
参加費	◆代表引率コーチ	無料（1日あたり10,000円の手当を支給）	
	◆自費支援コーチ	450,000円	
その他	◆代表コーチ・自費支援コーチには、協会指定の遠征用ユニフォームを支給します。		

※第40回JSCAブロック対抗水泳競技大会に参加した選手の担当コーチは、下記アンケートに記入し、大会前日までに各ブロック担当者まで必ず提出して下さい。

---

### クイーンズランドチャンピオンシップに関するアンケート

ブロック名	( )	所属クラブ名	( )
氏名	( )	生年月日	19 年 月 日 男・女
資格	( )		
代表コーチとして選考されたら	参加する	・	参加しない
自費支援コーチとして	参加する	・	参加しない

# クイーンズランドスイミングチャンピオンシップ

## 選手派遣に関するアンケート(選手用)

当協会「豪州遠征事業」は、選抜・一般参加選手で組織され毎年大きな成果を上げております。また、参加選手の多くが国際試合の経験の礎として、帰国後、日本のトップクラスの選手として活躍しています。本年度も、第40回JSCAブロック対抗水泳競技大会におきまして、参加選手の中から6名を選考し下記大会に派遣いたします。また同時に参加選手の中から自費参加希望選手も募ります。下記内容をご理解の上アンケートにお答え下さい。

一般社団法人日本スイミングクラブ協会  
事業企画委員会

### 記

大会名	2019クイーンズランドスイミングチャンピオンシップ		
遠征期日	2019年12月12日～22日（競技会日程：12月14日～20日）		
参加資格	1. 第40回JSCAブロック対抗水泳競技大会参加選手。 2. 別に定める選考基準を突破していること。 3. 大会初日の年齢が16才以下であること。 （クイーンズランドの大会が17歳以上はオープンとなること及びジュニア層の選手育成を計るため）		
選考	1. ブロック対抗水泳競技大会終了後、事業企画委員会にて決定する。 2. 別に定める選考基準により、男女6名を選考する。 3. 多くの選手育成を図りたいため昨年選考された選手は除外します。		
参加費	◆代表選抜選手	全額協会負担	
	◆自費参加選手	450,000 円	
その他	・代表選手として選考された場合は、特別の事情(日本水泳連盟合宿等)がない限り参加すること。 ・代表選手及び自費参加選手には、協会指定の遠征用ユニフォームを支給します。 ・詳細は大会要項が配布され次第お知らせします。		

※参加選手全員が記入し、JSCA ブロック対抗水泳競技大会前日までに、各ブロック担当者まで必ず提出して下さい。

## クイーンズランドチャンピオンシップに関するアンケート

ブロック名 ( ) 所属クラブ名 ( )  
氏 名 ( ) 生 年 月 日 年 月 日 (西暦記入)  
I D 番 号 ( ) 大会当日年齢 才 男・女  
代表選手として選考されたら 参加する ・ 参加しない  
自費参加選手として 参加する ・ 参加しない

# 一般社団法人 日本スイミングクラブ協会 クイーンズランドスイミングチャンピオンシップ派遣選考基準(内規)

一般社団法人日本スイミングクラブ協会  
全国事業企画委員会

派遣趣旨(目的) 次世代を担う、日本を代表するジュニア層の強化

## 1. 派遣選手団の人数

1. 派遣選手 6名 及び自費参加を含む15名程度
2. 派遣コーチ 2名 及び自費参加を含む5名程度
3. 役員人数 団長1名 副団長1名 医師又はトレーナー1名 シャペロン2名程度  
派遣コーチおよび役員構成はあくまでも基本であり選手数による増減及び兼任を認める。

## 2. 選手選考基準

1. JSCAブロック対抗水泳競技大会における種目の決勝結果を基準に選考する
2. 事前アンケートに参加意思表示がある選手
3. 当該年度、日本水泳連盟指定のジュニア合宿・遠征に選出されない者とするが、本人の意思を優先する
4. 当該年度、日本水泳連盟資格級の高い選手を上位から6名選考する
5. 男女比率は上位の性別より各3名づつとする
6. 当該年度、クイーンズランドチャンピオンシップ(以下QLDと表記)、大会初日の年齢で選考する

※ 7. 選考対象種目はQLD大会とJSCAブロック大会、双方にある種目とする(表参照)

■男子		12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	■女子		12歳	13歳	14歳	15歳	16歳
自由形	100	○	○	○	○	○	自由形	100	○	○	○	○	○
	200	○	○	○	○	○		200	○	○	○	○	○
	400	—	○	○	○	○		400	—	○	○	○	○
	1500	—	○	○	○	○		800	○	○	○	○	○
背泳ぎ	100	○	○	○	○	○	背泳ぎ	100	○	○	○	○	○
	200	—	○	○	○	○		200	—	○	○	○	○
平泳ぎ	100	○	○	○	○	○	平泳ぎ	100	○	○	○	○	○
	200	—	○	○	○	○		200	—	○	○	○	○
バタフライ	100	○	○	○	○	○	バタフライ	100	○	○	○	○	○
	200	—	○	○	○	○		200	—	○	○	○	○
個人メドレー	200	○	○	○	○	○	個人メドレー	200	○	○	○	○	○
	400	—	○	○	○	○		400	—	○	○	○	○

※2016年度QLDの参加年齢変更により、11歳が削除された。

8. 選考対象は大会初日12才以上、16歳以下の者
9. 本大会の最優秀選手、及び優秀選手を優先するが、QLD大会年齢別種目がない種目からの選考はしない
10. 過去に選考され派遣した選手は対象外とする
11. 日本国籍を有する者とする
12. 大会初日に日本スイミングクラブ協会加盟クラブの選手である者
13. 上記、基準外の事項が出た場合は選考委員会の総意にて決定する

### ■自費参加選手について

- ①本大会事前アンケートにおいて参加の意思表示のある者
- ②大会初日12才以上、16歳以下の者で10名程度
- ③代表選手団の一員となる自覚を持ち行動ができる者
- ④所属支部事業企画委員長・所属クラブ代表者が責任を持って派遣できる者
- ⑤日本国籍を有する者とする
- ⑥資格級11級以上の者

### ■一般公募選手の参加資格

- ①日本水泳連盟選手登録を済ませてある者
- ②大会初日12才以上、16歳以下の者
- ③当年度の日本水泳連盟水泳資格級11級(長水路)を有する者
- ④参加種目はこの事業の種目表にあるものとする
- ⑤代表選手団の一員となる自覚を持ち行動ができる者
- ⑥所属が日本SC協会非加盟クラブでも参加することができる
- ⑦日本国籍を有する者とする
- ⑧チーム選手総数を30名以内とし、超える場合は資格級上位から選抜する
- ⑨申込締切は毎年のJSCAブロック対抗大会終了後2週間内とする

### 3. コーチ選考基準

1. 本大会事前アンケートの参加意思表示がある者
2. 派遣コーチは2名とし、代表選手団を引率する自覚と団体行動を指導できると認められる者で派遣選手の担当者を基本とし選考する
3. 所属支部事業企画委員長・所属クラブ代表者が責任を持って派遣できる者
4. コーチ資格・教師資格を保持している事が望ましい

#### ■自費参加コーチについて

- ①本大会事前アンケートにおいて参加の意思表示のある者
- ②代表選手団の一員となる自覚を持ち行動ができる者
- ③所属支部事業企画委員長・所属クラブ代表者が責任を持って派遣できる者
- ④日本スポーツ協会認定 コーチ資格・教師資格を保持している事が望ましい

### 4. 役員選考基準

1. 団長は、前年度JSCAブロック大会を開催した支部の事業企画委員長とする
2. 副団長は、本年度JSCAブロック大会を開催した支部の事業企画委員長とする
3. シャペロンは、現地の事情に精通し、語学堪能の者とする
4. 団長・副団長に欠員が出た場合は、事業企画委員より選出する
5. 団長・副団長に不測の事態が起こった場合は全国事業企画委員長、または、全国理事より選出し代行を行う。

### 5. 支給品等について

1. 全参加者に協会指定遠征用ユニフォーム等を支給する

### 6. 選考会議

1. JSCAブロック対抗水泳競技大会終了後に行う。
2. 全国事業企画委員長が選考委員長の任を負う
3. 各ブロック事業企画委員長か副委員長の10ブロック10名の参加とする
4. オブザーバーの参加は事業企画委員会が必要と認めた者とする

### 7. 選考データの出力方法

1. 日本水泳連盟資格級を使用する
2. 日本水泳連盟資格級の達成率(%)まで参考とする
3. 決勝競技のデータを使用する
4. QLD大会の初日の満年齢で抽出する
- ※ 5. QLD大会の大会年齢区分(12歳・13歳・14歳・15歳・16歳)で抽出する
6. その他は選手選考基準に順ずる

制定日	平成16年	10月	1日
改定日	平成21年	10月	1日
改定日	平成22年	6月	16日
改定日	平成24年	6月	13日
改定日	平成27年	6月	12日
改定日	平成28年	2月	15日
改定日	平成29年	10月	16日
改定日	平成30年	10月	8日
※ 改定日	令和元年	6月	3日

### 事業の経緯・認識

この事業の始まりは、東海支部が1996年から行なっていたオーストラリア遠征に、日本SC協会海外遠征事業として2004年から参画し、今日に至る。代表選手の選考はJSCAブロック対抗水泳競技大会出場選手から6名選抜されると共に、東海支部の選抜選手・コーチと共同で団が形成されている。参加選手すべての中からベストメンバーによる構成でリレー競技にも参加している。なお、2012年より日本スイミングクラブ協会の一般社団法人化に伴い、選手の一般公募も合わせて実施されることとなった。